

## 商工会議所の年会費を支払った場合は？

慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。



**新人さん：**最近、商工会議所の指導員の方がよく訪問してくれていますね。

**先輩：**ああ、こまめに経営支援制度やマッチング事業などを紹介してくれているみたいだな。

**新人さん：**はい、この間もテレワークの導入に関するセミナーの紹介をしてもらいました。

**先輩：**最新情報を提供してもらえるのは助かるな。

**新人さん：**でも、毎回、経営指導料を支払っているのだと思うと、コストが心配です。

**先輩：**中小企業の支援だから、年間費を支払っているだけだよ。

### ●解説

「諸会費」とは、同業種団体や地域社会に対する会費や分担金等を処理する勘定科目です。具体的には、業務

に必要な同業種団体、商工会議所、商工会、法人会、町内会などの会費です。

会社が団体等の会費や経費を負担した場合、その団体がおぼろげに団体相互間の懇親のために会合を開催するための組織（ロータリークラブ等）と認められるときは、その会費等の負担は「交際費」として扱われます。また、業務に直接関係ない団体（政治団体や神社等）に対する支出の場合は、「寄附金」として処理します。

団体に支払う会費等が消費税の課税対象となるかは、支払う会費と受ける役務等の間に明らかな対価の関係があるかによります。その団体の存立を図る目的で、通常の業務運営のために経常的に必要な費用のような場合は課税仕入には該当しません。一方、会費という名目であっても実質的にセミナー料、情報提供料、購読料など役務の提供の対価の場合は課税仕入に該当します。 ▲

### ケース1 商工会議所の年会費とセミナー受講料を支払った場合

商工会議所に入会し、年会費30,000円と「労働保険・社会保険の実務」セミナー受講料11,000円を現金で支払った。

|             |               |                 |   |             |    |        |
|-------------|---------------|-----------------|---|-------------|----|--------|
| <b>【借方】</b> | 諸会費<br>支払消費税等 | 40,000<br>1,000 | ／ | <b>【貸方】</b> | 現金 | 41,000 |
|-------------|---------------|-----------------|---|-------------|----|--------|

### ケース2 同業者団体へ入会金を支払った場合

同業者団体の親睦クラブに入会し、法人会員として入会金50,000円を普通預金から振り込んだ。振込手数料は220円であった。

|             |                        |                     |   |             |      |        |
|-------------|------------------------|---------------------|---|-------------|------|--------|
| <b>【借方】</b> | 交際費<br>支払手数料<br>支払消費税等 | 50,000<br>200<br>20 | ／ | <b>【貸方】</b> | 普通預金 | 50,220 |
|-------------|------------------------|---------------------|---|-------------|------|--------|